

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課
1-1		大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度の公表 光化学オキシダント環境基準達成状況	環境基準達成 100% 光化学オキシダント環境基準達成状況を公表する。基準超過日45日	◎	環境レポートで公表。	生活環境課
1-1		一般地域における騒音調査及び測定（一般地域騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。環境基準達成率90%以上	◎	測定地点11地点中10地点で環境基準達成。	生活環境課
1-1		道路交通騒音調査及び測定（道路騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	測定を100%実施する。	◎	100%実施した。	生活環境課
1-1		新幹線鉄道騒音調査及び測定（新幹線鉄道騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定ヶ所2地点（下堀地区）	100%実施する。	◎	100%実施した。	生活環境課
1-1		まちなかレンタルサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。貸し出し可能自転車：常時15台	利用者数：2,600人	◎	平成26年度の利用者（延べ）3,773人	都市計画課
1-1		循環バス運行施策	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	△	循環バス利用者数は、前年度に比べ、約13%増加、オレンジバス利用者数は4%程度減少した。全体では、前年度を上回ったが、目標を達成には至らなかった。	地域交通政策課
1-1		地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としなの鉄道の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標1,200,000人	◎	別所線については、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。 しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	地域交通政策課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業（合併処理浄化槽設置整備事業実施基数）	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	△	補助金交付実績は5件であり、目標に対する達成率は71%となった。	生活環境課
1-2		河川水質調査及び検査（主要河川のBOD環境基準値達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内主要河川の水質検査を実施し、計35地点の検査により水質監視する。	◎	環境レポートにより公表。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査（地下水環境基準値達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水（井戸水）について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	○	12地点中9地点において環境基準を達成した。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査（地下水水質低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内12地点の地下水（井戸水）について、年一回低沸点有機塩素系化学物質（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン）を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン）の環境基準値の達成。	◎	環境基準達成度は100%であった。	生活環境課
1-2		水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うえだ環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・10月18日に開催された「うえだ環境フェア」へ出展し、環境負荷低減の取組等を紹介した。 ・水道週間に合わせて6月1日に開催された施設見学会とともに環境目標が達せられた。	経営管理課
1-2		公共下水道事業・農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業・農業集落排水事業を推進する	・管きよ整備 L=1.6km	・普及率97.2%（上田地域75.2%）	◎	・普及率は、H26年度末で97.3%（上田地域75.2%）となり目標が達成できた。 ・管きよ整備は、L=1.9kmを発注、L=1.7kmが完了した。 ・ホタルマップを環境フェア等のイベントで配布し、下水道のPRを行った。	下水道課
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	河川水の採水及び水質検査の実施	検査頻度を毎月1回とする	◎	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/17, 10/23, 11/13, 12/11, 1/15, 2/12, 3/5 に実施済み	浄水管理センター

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			有害化学物質による汚染を未然に防止する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課
1-3		ダイオキシン類の環境汚染調査（ダイオキシン類環境基準達成率）	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気5ヶ所、河川2ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	◎	大気5地点、河川3地点、土壌3地点、底質土2地点で調査を行い、環境基準の達成度は100%であった。	生活環境課
1-3		鉛給水管布設替え	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 650 故障修繕対応 102 計 752件	鉛給水管布設替個所数 752件	○	鉛給水管布設替 計画修繕対応 532 故障修繕対応 182 計 714件	上水道課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環境保全項目			森や里山を守り・親しむ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-1		全市一斉アレチウリ駆除の実施	森や里山を守り・親しむ	持続可能な森林・里山の保全・整備	全市一斉アレチウリ駆除の実施	全市一斉アレチウリ駆除日の実施	◎	6月30日に全市一斉アレチウリ駆除を実施した。参加人数4,062人、駆除量3,772kg	生活環境課
2-1		造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	私有林間伐205haの実施	△	本年度は、2団地の協定締結だけであり、私有林間伐実施は行わなかった。	森林整備課
2-1		松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の伐倒駆除の実施	被害木7,100m ³ の伐倒処理	○	V=6,731m ³ の伐倒駆除を実施 (目標値の94.8%)	森林整備課
2-1		樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を図る。	被害木7haの樹種転換の実施	◎	A=13.9haの樹種転換事業を実施。 (越戸、別所温泉地区) (目標値に対して約2倍の面積)	森林整備課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環境保全項目			水辺環境を守り・親しむ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-2		河川愛護活動(河川愛護団体数)	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 52団体	◎	上田地域58団体、丸子地域24団体、真田地域10団体、武石地域1団体、合計93団体が活動を行い、目標に対する達成率は179%であった。	生活環境課
2-2		水生生物調査及び支援	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	13箇所を実施。	△	実施箇所は7地点であり、目標には届かなかった。	生活環境課
2-2		農業用水路の多自然型水路整備箇所	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る		年間通して要望なし	土地改良課
2-2		多自然河川整備状況	自然・生き物・人が共生するまち	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動	◎		土地改良課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち							
環 境 保 全 項 目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-3		認定農業者 (担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 26年度目標 合計245経営体	△	2月審査会開催11件の認定(内、新規6件) 3月末時点で241経営体となりました。	農政課
2-3		農業法人(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討2件	△	具体的な検討には至らなかった。	農政課
2-3		荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 26年度目標 10ha	△	なかなか厳しい現実もあり、目標値には至らなかった。	農政課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 26年度目標 80ha	◎	目標値を越える実績となった。	農政課
2-3		遊休荒廃農地の解消(活用)による農地の有効利用	農環境を守り・親しむ	農地と農環境の保全 (数値目標平成26年度遊休荒廃農地解消面積10ha)	・遊休荒廃農地の解消(活用) ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 ⇒26年度解消目標面積10ha	○	・利用状況調査の実施状況の取りまとめと、遊休荒廃農地の新規発生分の意向調査実施、更に情報の有効利用のための「全国農地ナビ」による農地情報公開システムの情報整備を実施	農業委員会事務局

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環 境 保 全 項 目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-1		ごみの減量化及び再資源化の推進	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 雑がみ回収袋の導入 2 生ゴミ減量化の推進	1 広報や自治会説明会を通じた周知 2 市民モニターを募集し、減量効果のデータ収集	◎	「雑がみ回収袋」の導入については、全自治会に2種類ある袋を2枚ずつ（合計4枚）全戸配布を行いました。 また、144自治会で説明会の開催を行い、広報うえた、アイラブうえた、ホームページなどでも周知を図りました。 生ゴミ減量化の推進については、9月から2月まで市民モニター60人に「通風乾燥型生ゴミ処理機」を貸与し、生ゴミの減量効果の確認などをしていただきました。	資源循環型施設建設関連事業課
3-1		生ゴミ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ゴミ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器等購入費補助事業	1 乾燥生ゴミによる堆肥化の実証実験に着手 2 ごみ減量化機器利用者の増加 3 1人当たりのごみ排出量の減少	○	1 生ゴミ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園から回収 堆肥化実績 7.50 t（昨年度より0.16 t増） ・製造した堆肥の農地での実証実験の実施 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うえた等で補助制度を周知 ・補助実績（容器、処理機） 167台	廃棄物対策課
3-1		市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコ・ハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコ・ハウス来館者数 2,000人以上 2 新たなごみ減量アドバイザーの委嘱 研修及び実地等による人材育成	○	1 エコハウスの運営 ・各種講座の開催、情報発信（随時） ・「古着回収」を毎月1回開催した 回収実績 19.98 t 2 ごみ減量アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・エコストア現状調査の実施	廃棄物対策課
3-1		給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務	① おいしい給食作り② 地産地消の推進（地元産農産物の使用）③ 残菜量の削減④ BDFの使用	昨年度の実績を超えないよう努力する	○		第一学校給食センター
3-1		給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み（残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR） ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	○	高学年への学校訪問は回収業務を兼ねて実施したので、14校すべてに行くことができ、多くのパート職員も参加した。 施設見学は6校（13クラス） 試食会は5校〔10回〕実施した。 残菜量は一人当たりのパンとごはんの量を減らしたため大幅に減少した。 地元農産物については、使用量が増加している。	第二学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環 境 保 全 項 目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2		クールビズの実施による省エネルギー行動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまち	地球温暖化防止活動を推進する	クールビズ（ノーネクタイ、軽装勤務の励行）による、適正な空調利用の促進	実施により職員及び来庁する市民の環境に対する意識の向上を図る。	◎	事業の実施及び周知については計画どおりの実施がされ、エコオフィスの推進に寄与した。	人材開発課
3-2		電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	電子申請メニュー増及び利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 目標 40業務	○	目標 実績 - 電子申請業務数 40業務 30業務 ①市民向け 20業務 14業務 ②庁内向け 20業務 16業務 ・H26年度末利用実績 25業務 2413件 ・観光パンフレットの郵送申し込み、生ごみ処理機モニター募集といった市民向けの申込み（1373件）及び庁内のアンケート、調査等（1040件）に利用されており、紙資源の削減及び職員の事務業務改善となっている。	広報情報課
3-2		広報事業による環境意識の啓発	エコオフィスの推進	市民への環境意識の高揚を図る	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②行政チャンネルを活用した環境啓発活動	①広報うえだ啓発記事数 ②行政チャンネル環境啓発関係の番組数 ③広報うえだ発行部数の見直し	◎	・広報うえだでは、ごみ減量化、再資源化の特集を5月、11月、2月の3回にわたり掲載した。また、エコハウスのイベントを中心に16日号にほぼ毎回掲載するなど掲載数の増により市民への環境意識の高揚を図ることができた。 ・行政チャンネルでは、他分野のPR案件が多かったため、件数的には少なかった。 ・広報うえだの発行部数については、世帯数が増加しているが、公共施設等への配付数調整などにより現状を維持した。	広報情報課
3-2		庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気使用量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	◎		公有財産管理課
3-2		税務業務の効率的運営	eL-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャンネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeL-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 50% 給与支払報告書 33% 償却資産 12%	○	1月から電子申告が集中するため、10月から事業者、税理士等にeL-TAX利用の推進チラシ等を配布した。 eL-TAX利用により、事務の効率化が図られた。	税務課
3-2		上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうえだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0 %削減。	◎	平成25年度の実績は、平成23年度比で約4.4%の削減となった。	生活環境課
3-2		公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	・公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進めます。	◎	道と川の駅・サントミューゼで導入した。また、屋根貸し事業により、川辺小・清明小・武石小・丸子図書館に太陽光発電システムが導入された。	生活環境課
3-2		市の低公害車の導入促進	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	市の低公害車の導入促進を図る。	エコオフィス上田の推進を図る中で、低公害車の導入促進を図る。	◎		生活環境課
3-2		太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 500件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 20件	△	太陽光発電システム補助件数 423件 太陽熱高度利用システム補助件数 7件 目標に対し、太陽光は85%、太陽熱は35%の実績となった。	生活環境課
3-2		環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進します	広報等へ募集掲載 環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加（環境家計簿回収）家庭数 5世帯	△	26年度の回収数は2世帯で目標を達成することはできなかった。	生活環境課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環 境 保 全 項 目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2		うえた環境フェア（消費生活展）の開催	地球温暖化防止活動を推進する	市民の環境配慮行動の推進	うえた環境フェアの開催 10月19日（土）	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	来場者数は1,070人、アンケートによる満足度は92%となり、目標を達成した。	生活環境課
3-2		LED防犯灯設置基数補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助及び防犯灯のLED交換補助	新設 180基（うち、上田地域125基） 交換2,890基（うち、上田地域2,083基）	○	上田地域において、新設は130件の補助実績で目標を達成し、交換も2,083件の目標に対し2,082件の補助実績となり、ほぼ目標は達成した。	生活環境課
3-2		市営住宅の管理	①環境負荷の低減（口座振替の推進、入居者への環境啓発）	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会（年2回）に口座振替利用の奨励と環境啓發文を掲載	口座振替率 87.10%以上	○	当初の計画のとおり、6月及び1月に全入居者への通知の中で「節電・節水」を呼びかけ、環境啓発に努めた。 口座振替は、新規入居者については100%で推移し、全体では87.1%となり、目標を達成した。	住宅課
3-2		医療、診療、検査、給食等の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	・節電 ・コピー用紙の削減化 ①裏紙、2in1コピーの活用 ②リサイクルの徹底による可燃ごみ排出の抑制	コピーカウンターがないため、数値目標は設定できないが、コピー枚数の削減に努める。 (25年度使用枚数×98%)	○	下半期はコピー枚数が対前年比14%減、電気使用量が13%増となった。年間ではコピー枚数が対前年比17%減、電気使用量が対前年比15%増（料金改定あり）とした。	市立産婦人科病院
3-2		太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替えに伴う太陽光発電設備設置を検討する	神科第一保育園建替事業の建設において、当該設備を設置する。	○	神科第一保育園建替え事業において生活環境課と協議した結果、屋根貸しを行うこととなり、入札により事業者が決定した。現在設備設置について事業者と協議を行っている。平成27年5月設置予定。	保育課
3-2		新技術等開発助成事業	環境にやさしい人をはぐむ	環境にやさしい新技術等を開発する事業者に対する支援	助成制度についての周知及び助成の実施	事業所を訪問し、助成制度について説明する。（20件）	◎	①市広報による周知 ②事業所訪問による周知（39件、年間64件）	商工課
3-2		池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進（一人当りの電気・水道量等の削減）	電気等の節減と入館者数の増加（環境啓発とエコオフィスの推進）	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当りの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減（節電の徹底、施設内の適正な温度管理） ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当りの電気量5kwh以下。	○	・閉館後の消灯等節電、施設内の適正な温度管理等に取り組んだことにより、前年と比較し、年間の電気使用量が約3.8%減少した。 ・年間の入館者数は目標を達成したが、入館者一人当たりの電気量は5.24kwhとなった。 【平成26年度】入館者数31,729人、電力使用総量166,185kwh	池波正太郎真田太平記館
3-2		小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり	小中学校への太陽光発電システムの導入（屋根貸事業を含む）について検討	学校改築事業にあわせて、新たな太陽光発電システムの導入について検討する。	◎	小中学校への太陽光発電システムの導入 ・第二中学校 20キロワット ・川西小学校（屋根貸事業への対応） ・東塩田小学校（屋根貸事業への対応）	教育総務課
3-2		各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査（毎月） ・定期財務事務監査（6月～11月） ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査（4月～8月） ・行政監査（9月～1月） ・財政援助団体等監査（9月～1月）		◎	H26年度監査方針、実施計画に基づき、各種監査・審査・検査等を実施した。 ・例月現金出納検査（毎月） ・定期財務事務監査（11/14部局講評、11/19理事者報告） ・行政監査、財政援助団体等監査（2/13理事者報告）	監査委員事務局

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-3		雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めま	雨水貯留施設設置費補助	30件	△	目標30件に対し、実績は25件となり、目標達成率は83%となった。	生活環境課
3-3		ホームページ、QRコードを使用した観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内をします。	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。	○	2015上田城千本桜まつりポスター、パンフレットにQRコードを採用した。	観光課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にするまち							
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-1		文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	△	昨年度の指定物件の継続審議分(上田原遺跡出土の鉄矛)については、評価が難しく、26年度は文化財保護審議会の開催に至らなかった。	文化振興課
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	○	・来館者は、年間60,047人であった。 ・教室等もほぼ予定どおり実施されている。	上田市立博物館
4-1		信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・樹木のチップ化も100%である。 ・入館者は、5,200人。	上田市立博物館
4-1		山本鼎記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月から8月までに14,566人であった。(開館は8月までで閉館) ・教室等も予定どおり実施された。	上田市立博物館
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月から12月までに2926人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	武石ともしび博物館

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち						
環 境 保 全 項 目			緑あふれるまちをつくる						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-2		街路樹植樹事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹の植樹延長を増やし、まちに潤いとやすらぎをもたらす	街路樹の植樹予定なし	街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討	△	来年度（平成27年度）実施計画において、新規路線の立上げを目論見ましたが、一部の路線は事務査定において「項目計上」となり、今年度の目標達成は厳しい状況となりました。	都市計画課
4-2		景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図る	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件（予定）	・補助金を出した生垣の延長（本年度延長150m）	△	下半期の補助件数は1件で、年度末での総件数は6件、目標件数の40%であった。	都市計画課
4-2		公園の整備	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	・市民緑地広場駐車場整備工事 A=14,200㎡（繰越明許） ・市民緑地広場整備工事 A=13,200㎡（繰越明許） ・市民緑地広場植栽工事 A=9,200㎡ ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=609m（繰越明許） ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=300m	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。	◎	・市民緑地広場駐車場・市民緑地広場整備工事ともに工事を完了した。 ・市民緑地広場植栽工事は3月に工事を完了した。 ・上田城跡公園バリアフリー化工事は繰越分が4月に完了し、現年度分についても3月に完了した。	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施（1）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 792人 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数（延べ口座開設者 792人） ・花づくり講習会 開催回数年間3回	◎	・花の種銀行 口座開設者801人① ・種から育てる花づくり講習会の開催2回（5月、9月）	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施（2）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 135,000本①②	・地域自治会等に配布する花苗本数（135,000本）	○	・秋苗の配布59,073本① 合計133,250本配布	公園緑地課
4-2		緑地の保全（染屋台グリーンベルト保全事業）	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全（地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和）の面から積極的に保全をすることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	・5月から9月まで毎月1回、計5回里山整備を実施した	公園緑地課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち						
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-3		ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動を推進します	・広報への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施（県下一斉に年1回）…地区別に4回に分けて実施する	参加者人数 10,000人	◎	10,383名の参加があり、目標は達成した。	生活環境課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数（各1）	△	新たに、景観づくり市民団体の認定及びアダプトシステム協定締結を行った団体はなかった。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図る	自主的なルールづくりに向けた機運の高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言をする。	認定数（1）	△	引き続き非公式な接触はあったが協議には至らず、景観づくり市民団体の設立準備までには到達できなかった。なお、大手通りの修景については、案の検討を行った。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施（2回）	◎	1回目を10月18日に国分・上堀において、2回目を3月14日に柳町地区において、それぞれ実施し、募集定員を上回る参加者により実施した。	都市計画課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環 境 保 全 項 目		環境にやさしい人を育む							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-1		環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児及び保護者が興味を示すこと	◎	「ばっくん」を使い、給食調理に伴い発生する生ごみの一部をたい肥化した後に、菜園にもどすことにより循環型社会を目指す環境教育を推進した。 ・平成26年度生ごみ処理機1台新規設置（神科第一保育園）	保育課
5-1		国際規格審査登録助成事業	環境にやさしい人をはぐくむ	ISO14000S等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000S等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。（10件）	◎	①事業所訪問による周知（10件、年間20件）	商工課
5-1		環境にやさしい学校づくり事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・光熱水費削減の取り組み結果を評価し、環境教育の推進に資するための予算を各学校へ追加配当する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成し、実行する	◎		学校教育課
5-1		学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。・収穫は手刈りで行い、はぜにかけ天日乾燥する。・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校（16校）の5年生1,183人・平成25年度の耕作面積16,533㎡	◎		学校教育課
5-1		各種講座・里山づくり支援	環境教育の推進	環境に対する市民の意識を高揚する。	里山地帯の地域づくり講座等6回、花と庭づくり教室8回、里山で自然遊び体験6回、自然に親しむ講習会1回	成人教育及び青少年教育において、環境に関する講座を開催し、環境への意識を高める。	○	・里山で自然遊び体験（5回） ・花と庭づくり教室（8回） ・里山地帯の地域づくり講座（6回） ・自然に親しむ講習会（1回） ・太郎山虚空蔵山縦走路整備ボランティア（2回） ・太郎山虚空蔵山縦走路トレッキング（2回）	西部公民館
5-1		公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設：4講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	昨年度より開催講座数を増やす。 参加者の意識の向上を図る。	◎	今年度は計画どおり4回実施され、各回とも多くの参加者が学ぶことが出来た。自然観察を通し市民に環境問題に関心を持ってもらうため、来年度も実施したい。	城南公民館
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		◎	本のリサイクル市を11月に行った。	上田図書館
5-1		文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	各イベントのチラシ・パンフレットを計画に沿って再生紙及び大豆インクを使用して作成した。	文化振興課
5-1		天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護	◎	・マダラヤンマの保護パトロールは9月で終了した。多くのに飛翔がみられた。高山蝶パトロールは、順調に実施した。	文化振興課
5-1		各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発	○	各種大会資料、会議資料を2in1や両面印刷するなど削減に努めた	スポーツ推進課
5-1		自然を守り、環境美化活動	自然を大切にし、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。			自然運動公園管理事務所
5-1		環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスをうえた推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発（館内掲示）を行う。	施設利用者数 （目標 90,000人以上）	○	館内に掲出済み	自然運動公園管理事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-2		自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧するように指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	年度当初計画送達件数 ・平成22年度…313件（実績381件） ・平成23年度…390件（実績397件） （実績内訳 各戸配布 199件 回覧文書 198件） ・平成24年度…398件（実績389件） （実績内訳 各戸配布 201件 回覧文書 188件） ・平成25年度…420件（実績435件） （実績内訳 各戸配布 215件 回覧文書 205件）	○	・各自治会への配布文書の把握 [H26]各戸配布 [増]7件 [減]3件 回覧 [増]28件 [減]3件 その他 [増]24件 [減]1件 H26実績 各戸配布 224件 回覧 250件 その他 130件 必要性の高い事業の増加により前年度より件数が増えたが、的確な文書数の把握と、担当課への周知という目標については実施できた。	市民参加・協働推進課
5-2		うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	環境にやさしい地域をはぐくむ	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	駅前清掃の支援 3 回	◎	駅前清掃の支援を 3 回実施し、目標を達成した。	生活環境課
5-2		農村環境改善センターの維持管理	施設利用者の安全と電気・水道・冷暖房の使用量の抑制	エコオフィスうえだに基づき、地球環境の保全に取り組む	①センター利用者へエコオフィスうえだをPR ②毎週水曜日の資源回収時に指導 ③転入者に資源回収のPR ④地域協議会における地域（環境）課題（わがまち魅力アップ応援事業を含む）への対応	①地域住民の環境保全意識の向上 ②地域内分権における環境課題への対応	○	地域の環境保全に対する関心は高い。 今年度は特に地域内分権のための住民自治組織を設立するため準備会が立ち上げられ、地域（環境）課題についても今後検討していく体制づくりの準備を開始した。	豊殿地域自治センター
5-2		地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と生活環境の改善	塩田地域における環境保全に向けた取組みと啓発	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。自治会連合会、諸団体、行政と連携して活動を推進。	数的目標を立てることは、難しいが、環境目標に向けた取り組みが自治会を通して市民意識の高揚に反映できることを目標とする。	◎	計画した事業は、目標どおり達成された。	塩田地域自治センター
5-2		地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収（ビン・缶）時の啓発。 ②地域協議会における地域（環境）課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整（環境関連） ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	◎	①リサイクル回収について、立会うことができないため、回収場所に、文書等の掲示をして、違反の注意や啓発を行なった。 ②わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行なった。 ④窓口で転入手続された方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行なっている。	川西地域自治センター

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	下半期交付決定数 2件 年度実績報告数 4件	丸子市民生活課
1-2		排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.0%	◎	新規接続件数 丸子137戸	丸子上下水道課
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/ℓ以下 末端給水栓水 通常0.1mg/ℓ以上 ②検査回数	◎	一年を通して水質の管理ができた。	丸子上下水道課
1-2		公共下水道事業	きれいな水と環境保全を確保	公共下水道事業	○処理場の整備 ①管平浄化センター改築更新	○処理場の整備 ①管平浄化センターポンプ計装更新工事 ②自家発電機設備更新実施設計、受変電機設備更新実施設計 ③受変電機設備更新実施設計	○	管平浄化センターポンプ計装更新工事は繰越とした。自家発電機設備更新実施設計、受変電機設備更新実施設計は、達成。	真田上下水道課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			有害化学物質による汚染を未然に防止する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環 境 保 全 項 目			森や里山を守り・親しむ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環 境 保 全 項 目			水辺環境を守り・親しむ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-2		多自然型水路整備	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1箇所整備する。	実績数値による。	◎	・他自然型水路工（水路方面保護） 丸太柵工 4M×2段 H=70CM	丸子産業観光課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(丸子・真田・武石)

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環 境 保 全 項 目			農環境を守り・親しむ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
2-3		多面的機能支払制度	農地の有する緑地機能、環境機能の保全を図る	水路、農道等を含め、農地を農地として維持することにより発揮される、国土の保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を支える活動組織を支援する	平成26年度からスタートする日本型直接支払制度(多面的機能支払制度)の活動組織の設立のサポートを行い、地域資源の多面的機能が適切に発揮されるよう、バックアップする	希望する団体に対し説明会を行い、3つの組織を立ち上げる。	◎	赤井地区、9月12日組織設立。 真田地区、11月24日組織設立。 横沢地区、12月7日組織設立。	真田産業観光課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 25年度末 8.6ha →26年度目標10ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。 面積12.4haを達成した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			循環型社会の形成に努める						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-1		丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月15日(土)開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	10月20日 役員会開催 10月24日 全体会議開催 11月14日 前日準備 11月15日 消費生活展開催 来場者数 650人 来場者満足度 96.8% 11月26日 役員反省会 1月23日 全体反省会	丸子市民生活課
3-1		ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 40件	△	補助金交付件数7件(目標20件) 目標の35%到達 年間21件(目標40件) 目標の53.5%到達	丸子市民生活課
3-1		資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	1件交付(海戸自治会)	丸子市民生活課
3-1		給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地産地消の推進、②給食残渣の再利用、③廃油の再生利用、④BDFの使用	②地産地消の推進 ③給食残渣の再利用 ④廃油のBDF活用 ⑤配送車燃料としてBDF使用	②地産地消の推進 地元産食材使用割合 45% ③給食残渣の再利用 継続実施 ④廃油のBDF活用 継続実施 ⑤配送車燃料としてBDF使用 108ℓ	○	②年間利用率43.1% ③地元事業者之家畜飼料として再利用を依頼している。 ④廃油を定期的に事業者へ搬送 ⑤秋期から冬期は利用に適さないため未使用	丸子学校給食センター

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-2		グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を72%以上とする	◎	・平成26年度実績：グリーン購入率 72.7%	丸子地域振興課
3-2		消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.5%減 (306,808kwh)	△	・エレベータ休日停止 (H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知 ・平日夜間 (18時～7時) エレベータ停止を実施 ・H26電気使用料 317,907kwh (H25年度比 311,480kwh、+2.06%) ・目標値未達成であったが、平成20年度以降2番目の低消費電力量であり、概ね良好な状況は維持できている。	丸子地域振興課
3-2		丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減 (29,532kg)	◎	・H26実績 28,840kgと前年度比△840kg(△2.8%)と良好な結果となった。 ・可燃ごみの削減について、ゴミの分別 (リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減) を周知徹底した。	丸子地域振興課
3-2		集中管理者のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成23年度実績の±0.0%	○	・平成25年度車両燃料使用量削減状況 ガソリン3,716前年比△8.4% 軽油6,098前年比 0.5%増 バス及び普通車両の運行増による軽油の使用料増	丸子地域振興課
3-2		防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換 (543基/2,469基)	◎	本年度配分率 26自治会543基 交付決定済数 26自治会543基 実績報告件数 26自治会543基	丸子市民生活課
3-2		新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	△	21件 (目標60件) 目標の35%到達 年間60件 目標の50%到達	丸子市民生活課
3-2		市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減 (平成23年度、住宅部門単独で設定した事業を、24年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期 1,600ℓ 年度末 2,918ℓ ・軽油車(2台分)使用量…昨年度から1%削減 上半期 1,004ℓ 年度末 2,179ℓ	○	ガソリン 1338.04リットル 軽油 1274.55リットル 通年では ガソリン 2817.04リットル 軽油 2227.55リットル	丸子市民生活課
3-2		環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する。	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。	1社以上の取得を目指す。	○	各種の情報提供は行ったものの、取得を希望する企業はなかった	丸子産業観光課
3-2		レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減を目指す。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用実績 平成26年度 延べ750台	△	平成26年度実績606台。平成25年度実績より減少。	真田産業観光課
3-2		エコオフィスうえだ	環境にやさしい製品等の購入の推進	グリーン購入の推進	物品等の購入についてエコマーク、グリーンマーク、省エネマークなどの環境ラベルリング商品を優先的に購入する。	購入物品の65%以上をグリーン購入とする。	△	年度末 49.4%	武石市民生活課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目			地域資源を有効利用する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
3-3		雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	△	交付件数2件(目標6件) 目標の33%到達 年間件数8件(目標12件) 目標の66.7%到達	丸子市民生活課
3-3		漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	○	漏水調査を実施し修理を実施中 有収率は、69.81%です。	丸子上下水道課
3-3		老朽管布設替	水資源の有効利用	有収率の向上	老朽管布設替	老朽管布設替完了	◎	事業完了。	真田上下水道課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち						
環境保全項目			歴史・文化を未来に引き継ぐ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にするまち						
環境保全項目			緑あふれるまちをつくる						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-2		花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討①②⑤⑧ 2 住民参加による緑化③④⑥⑦⑨⑫ 3 住民環境啓発⑩⑪⑫	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑩講習会への参加	○	9月12日 ⑩第一回「野菜づくり講座」の実施 8名参加 10月3日 ⑩第二回「野菜づくり講座」の実施 8名参加 11月7日 ⑩第三回「野菜づくり講座」の実施 8名参加 12月5日 ⑩総仕上げ交流会の実施 4名参加 述べ28名参加 10月6日 ⑨平成26年度 上田市花と緑のまちづくりコンクール表彰式 団体50㎡以上の部 優秀賞 腰越花花・桃の会 団体50㎡未満の部 優秀賞 上平南自治会 10月28日 ⑧秋植え球根配布(チューリップ 6,890球) 1月1日 「花だより2015」配布(丸子地域全戸) 3月12日 ⑪平成26年度 花いっぱい運動の肥料配布 70団体 化成肥料(10kg) 80袋・苦土石灰(10kg) 12袋・堆肥(40ℓ) 171袋	丸子建設課
4-2		住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子・ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理①～⑥	①～⑥ボランティア参加者 190人	○	年間ボランティア参加者数 155名	丸子建設課
4-2		武石地域公園化構想による地域づくり	すぐれた景観の保全	桜並木の維持管理を推し進め、緑の空間の保全	緑の景観づくりを目指す。	桜 植栽(オオヤマザクラ) 40本 テング果落病対策(ソメイヨシノ) 40本	◎	当初作業計画どおり H26.6.30までに完了。	武石建設課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち						
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
4-3		犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	◎	苦情件数 0件 3月 犬のしつけ方教室開催について広報うえだに掲載した。 希望に応じ、随時 犬猫の正しい飼育方法チラシを自治会回覧した。	丸子市民生活課
4-3		上田市ボイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ボイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 6,600k g (H25の20%削減)		パトロール回数 72回 (目標72回) 不法投棄ごみの量 *kg (目標の*) 通年パトロール回数 144回 (目標の100%)	丸子市民生活課
4-3		ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施 (県下一斉に年1回) 5/26 (日) 丸子地域は自治会ごとに実施 ボイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	△	参加人数 2,087人	丸子市民生活課
4-3		河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃 (依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施 (夏・秋の年2回、参加6団体)	◎	第85回春の河川パトロール 5月22日(木) 実施 参加 6団体 23名参加 第86回秋の河川パトロール 10月21日(木) 実施 参加 6団体 22名参加	丸子市民生活課
4-3		アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保護・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎	全市域のアレチウリ一斉駆除日を6/29[日]に設定し、真田地域の自治会では5自治会が実施し、都合で外の日に11自治会が駆除に取組み、945人の参加で約77kgを駆除した。 私有地への駆除指導は広報等により実施し、空き地苦情に合わせ、土地管理者本人へも直接指導した。	真田市民生活課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-1		丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載 (計6回)	◎	計画どおり実施した	丸子地域振興課
5-1		丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。＜事業周知時における呼びかけ＞	・住民環境啓発 ①②③④⑤		◎	自主文化事業におけるポスター・チラシに乗り合わせ啓発文を掲載した。	丸子地域教育事務所
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・リサイクル図書の入替えを行ない本の活用を図る。	◎	11月30日(日)に「リサイクルブックフェア」実施 持ち帰り冊数842冊	丸子図書館
5-1		移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行 (丸子・武石地域、年間約150日運行)	貸出冊数 21,000 冊	◎	10月～3月まで 移動図書館の運行 (丸子・武石地域 75日) 貸出冊数 10,344冊 計 21,298冊	丸子図書館

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課
5-2		わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9 団体	◎	年間で16団体の申請を受付、補助事業を実施。環境保全の協力を促した。	丸子地域振興課
5-2		隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。 ③エコ料理教室を開催する。 省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じて市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 95 回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人			丸子市民生活課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する						
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	年度末結果	担当課